

いなみ町

# 議会だより

No.74  
2017.7



## 第2回定例会

- 議案審議…………… P2～P4
- 一般質問(6名が登壇)…………… P5～P11
- 文化協会(印南町ふるさと歴史文化研究会)…………… P12

テタコンサート in いなみ



## 6月定例議会

6月8日に開会、6月14日に閉会しました。議案17件（条例4件、予算2件、人事案件2件、その他9件）を慎重に審議し原案通り可決しました。

### ●「あけぼのふれあいセンター」が撤去されます

「あけぼのふれあいセンター（旧あけぼの保育園）」は、地域の交流拠点を目的に平成24年1月に開館しました。子育てサークルへの貸し館やシルバー人材センターの事務所、また危機管理面においては、大規模災害時の役場の代わりの施設として役割を果たしてきました。

しかし、上道地区の住宅建替事業に伴い、

解体、撤去することになりました。

そのため、関連する条例を廃止する議案が提出されました。

#### 質問

この施設には災害時の備蓄食料が保管されていますが、どのように対応されますか。

#### 答弁II総務課長

切目小学校の裏側に芝生関係の用具を置く倉庫があります。

まずグラウンド近くに新たな倉庫を建てて学校の用具をそちらに移

し、空いた倉庫に備蓄食料等を置く予定です。新たな倉庫については、現在、教育委員会が作業にかかっています。

#### 質問

備蓄食料を入れる倉庫は、現在の状態のまま利用するのですか。

#### 答弁II総務課長

そのまま利用するのは困難なので少し改修します。

ただし、面積は変わらない予定です。

現在、あけぼのには1,900人分の備蓄食料を備えております。

期限や数などを考慮して入れ替えつつ、管理していきたいと考えます。

#### 質問

この施設の撤去は、いつ頃から始まりますか。

#### 答弁II建設課長

現在の町営住宅建替工事の進み具合にもよりますが、今年の7月

中に工事を発注する予定です。



**平成29年度一般会計補正予算の主な質疑**

補正予算として1億9千4万9千円が計上され、予算総額は53億3千906万4千円になります。

**質問**

土木費の中に橋梁（ひょうりょう）長寿命化修繕費が計上されていますが、どの橋の事ですか。

**答弁II建設課長**

予定していた4つの橋に加え、大川橋（山口）、切目橋（切目）、出合橋（羽六）の計7つの橋の予定です。

**質問**

切目橋は、島田地区からの通学路でもあり避難路でもあります。架け替えはできませんか。

**答弁II建設課長**

昨年度の橋の点検調査で危険であるという



結果が出ました。

しかし、周辺住民の日常生活に欠かせないため架け替えは非常に困難です。

このため、重量規制を8トンから2トンと厳しくして修繕します。

**質問**

防災費でソーラー誘導灯を5基設置するための費用が計上されていますが、どこに設置するのですか。

**答弁II総務課長**

印南地区に3ヶ所（小学校裏、中学校付近、浜埋立地からの避難路）、切目地区に2ヶ所（高垣・島田）を予定しています。

**【その他の可決・承認した議案】**

- 専決処分（印南町税条例の一部改正）
- 専決処分（印南町国民健康保険条例の一部改正）
- 専決処分（印南町過疎地域における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正）
- 専決処分（印南町消防団員等公務災害補償条例の一部改正）
- 専決処分（平成28年度印南町一般会計補正予算 第7号）
- 専決処分（平成28年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算 第5号）
- 専決処分（平成28年度印南町後期高齢者医療特別会計補正予算 第3号）
- 専決処分（平成28年度印南町滝ノ岡専用水道事業特別会計補正予算 第1号）
- 専決処分（平成28年度印南町農業集落排水事業特別会計補正予算 第1号）
- 条例改正（職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正）
- 条例改正（職員の育児休業等に関する条例の一部改正）
- 条例廃止（印南町地域交流センター設置及び管理条例の廃止）
- 条例改正（印南町地域包括支援センターの運営及び職員に関する基準を定める条例の一部改正）
- 予算案（平成29年度印南町一般会計補正予算 第1号）
- 予算案（平成29年度印南町国民健康保険事業特別会計補正予算 第1号）



# 議案審議

教育費の中学校費に「部活指導員賃金」として79万2千円が計上されました。これは「運動部活動推進事業」という国の施策で、中学校の部活動において、専門分野の指導員を外部に依頼するための賃金です。

今年から柔道の専門指導員が配置されます。この予算計上に関する質疑を紹介します。

### 質問

この事業の目的は何ですか。

### 答弁II教育長

県の要綱を参考に、印南町教育委員会においても要綱を作りまして、契約は一年です。

### 答弁II教育長

教員の負担軽減に向けた取り組みで教員がじっくり子供と向き合う時間を増やすためのものでもあります。

専門家による安心・安全な指導で技術と体力の向上をめざします。

### 質問

指導者になるためにはどのような資格が必要ですか。条件などあるのですか。

● 認を得ること。

● 年間・月間指導計画を作成し、校長の承認を得ること。

● 部活動の中において日常的な生徒指導を行うこと。

● いじめや暴力事案が発生した場合には、速やかに教諭等に連絡し、組織的に対応すること。  
● など挙げられています。

● 厳守事項として、

● 一週間のうち1日は休養日を設定

● 練習時間は平日2時間程度

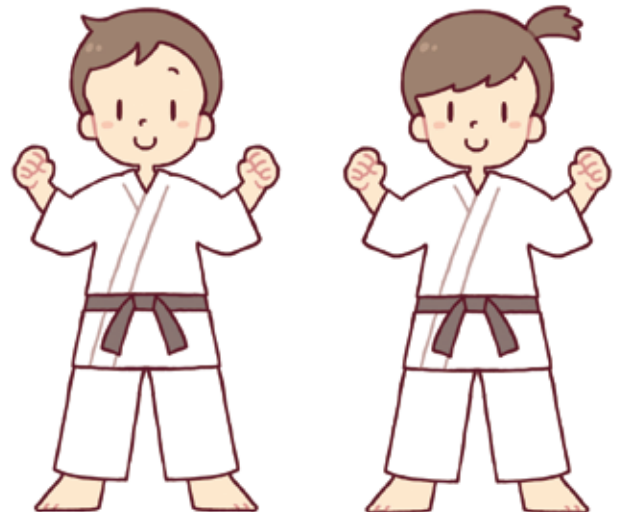
● 休日は4時間まで  
この指針に準ずることとなります。

### 質問

指導員が一週間のうちに各学校を回って指導するのでしょうか。

### 答弁II教育長

制度が始まったばかりですが、基本的に一つの学校に指導員が入ることを考えています。



### 人事案件

町長から提案のあった次の人事案件について、同意しました。

#### ● 固定資産評価員の

選任

内匠 充好 氏

#### ● 監査委員の選任

大野 恵司 氏





# こんな一般質問がありました

※写真は新庁舎の議場

## 質問者

前田 憲男 / 6 ページ

## 質問内容

1. 雨の日の火葬場の使用状況について
2. 自立支援医療（精神通院医療）について

## 質問者

岡本 庄三 / 7 ページ

## 質問内容

1. 職員の勤務状況について
2. 新庁舎について
3. 旧庁舎について

## 質問者

井上 孝夫 / 8 ページ

## 質問内容

1. 住民の健康増進について

## 質問者

藤数 利広 / 9 ページ

## 質問内容

1. 庁舎移転後の財産管理等について
2. 若者定住における土地政策について

## 質問者

榎本 一平 / 10 ページ

## 質問内容

1. 住宅の耐震診断、耐震補強、耐震改修の現状を問う
2. 核兵器禁止条約の実現に向けて
3. 住民の移動手段と公共交通網の考えについて

## 質問者

藤本 良昭 / 11 ページ

## 質問内容

1. 印南町の地方創生について
2. いじめ問題について





# 一般質問

## 雨の日の火葬場の使用状況について

前田 憲男 議員

### 質問

印南町では、年間に100名以上の方が亡くなり、同じ数だけ火葬場も使用されています。

そのうちの二割程度が雨の日となっております。晴れていれば不具合ありませんが、雨が降っていると大変不便な状態であります。

一度、雨の日の火葬場の状態をご確認いただきたい。

### 答弁

生活環境課長

まず近年の使用状況は、次の通りです。

年度	使用件数
24年度	134件
25年度	159件
26年度	149件
27年度	136件
28年度	125件

このうち雨の日は、平成27年で25日、28年では11日です。

斎場の管理者に確認したところ、やはり雨の大きいときには、棺桶を降ろす際、また送迎バスの乗降時に、不便を感じる時もあると聞いております。

しかし、当課には住民の方からの要望を頂いておりません。

今後、状況を把握し、調査検討していきたいと考えています。

### 再質問

この場所は、同じ方が頻繁に使用する場所ではありません。

しかし住民の方からは、雨で困ったという声を聞くことがあります。町長はどのようにお考えでしょうか。

### 答弁

町長

一生に一度の最後のかげがえのない日を、できるだけ気持ち良く送らせてもらえる環境を作るのも、我々の仕事であると考えます。

### 精神通院医療について

### 質問

精神通院医療とは、何らかの精神疾患により通院による治療を続けなければならぬことを言います。

近年、生活環境によって起こる様々な苦悩により、このような症状の方が増加傾向にあると言われています。

この医療費への補助が、管内では当町だけが補助されていないとお聞きしました。他の市町は、

市 町	補助
御坊市	半額
由良町	全額
日高町	全額
日高川町	全額
美浜町	半額

### 答弁

住民福祉課

御坊保健所管内の市町の精神通院医療費自己負担助成の実施状況は、次のとおりです。

どのように補助されているのでしょうか。

### 再質問

今後、医療費への補助をどのように考えますか。

### 答弁

住民福祉課長

自己負担1割というのは、基本的な原則ではありますが、多くの自治体がありますが、多くの自治体が助成を現在実施している中、印南町だけが、住民との距離が広がることは、回避しなければなりません。

今後、助成事業を検討したいと考えます。





## 新庁舎について

岡本 庄三 議員

### 質問

教育委員会はいつ新庁舎に入庁されるのですか。

### 答弁 企画政策課長

既に、ご案内のとおり、公民館での執務を引き続き行い、入庁時期について検討しております。

### 再質問

住民の方から「かえる橋を歩いて上がれない」「各課の案内表示、トイレ、エレベーター等の位置が分かりづらい」等の話をお聞きしましたが、このご意見についてのお考えは。

### 答弁 企画政策課長

大規模災害時に備えて高台に移転していただきますので、かえる橋を渡って来られる方につきま



旧庁舎

しては利便性が低下しております。その様な方々におきましては、教育委員会で窓口業務をするとご案内いたします。

庁舎内のカウンター表示やトイレの案内が分かりにくいというご指摘につきまして、接遇等の徹底に努めてまいります。

### 旧庁舎について

### 質問

今後はどのようにされますか。

### 答弁 企画政策課長

旧庁舎解体につきましては、おおむねですけれども、平成31年度を目途に、現在検討しています。

解体撤去、跡地整備等を実施する場合は、概算で約1億円程度の金額が必要になります。旧庁舎が倒壊する危険を考慮して、直ちに解体撤去するということであれば、町単独の負担で1億円を投じなければなりません。したがって、国の動向を注視し、特定の財源を確保しながら

ら計画的に進めていきたい。

### 再質問

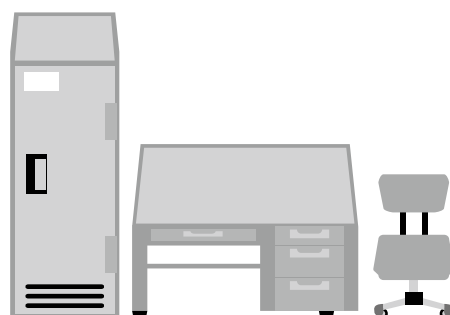
旧庁舎内の備品処分等については、今後どうされるのですか。

### 答弁 総務課長

学校関係や出先関係等が必要なおとながな残る場合、インターネットによる官公庁のオークションを活用して、売却できないか検討しています。ただ、学校等につき



まして、夏休みに先生方に見ていただくことになるかと思えます。今の段階では、早くて10月を目途としていきます。





# 一般質問



## 住民の健康増進を問う

井上 孝夫 議員

### 質問

つれもて健診、ドックの実施状況をお聞きします。

### 答弁

住民福祉課長

平成27年度では、特定健診及びつれもて健診の受診者数は881人で、受診率は37.3%です。また人間ドックは、定員250名に対し申し込み者数が360人で、倍率が1.44倍です。

### 再質問

一人でも多くの方が人間ドックを受診できる様、受診定員数の拡大を検討してはどうか。

### 答弁

住民福祉課長

日高病院と健診センターキタデに加えて他の医療機関への委託等、定員の拡大を検討しています。

ですが、全ての希望者が受診するのは困難です。町が実施する特定健診により、がん検診等を相互に補完したいと考えています。

### 再質問

2012年の都道府県別の肺がん死亡率は、和歌山県がワースト4位です。

また県内の7つの二次医療圏内で、日高郡が男女ともに県内ワーストトップと報告されています。

慢性閉塞性肺疾患だけでなく肺がん、肺結核の早期発見に役立つと言われるCOPD検診が、近年各地の自治体で実施されています。

当町においてのCOPD検診及び費用助成の実施をお聞きします。

### 答弁

住民福祉課長

補助金の活用や医療機関の選定を含めて、住民の利便性等、多方面にわたって検討し、合理的かつ効果的な事業の実施を考えます。

### 教育行政における健康増進教育を問う

### 質問

児童・生徒に対する健康教育は、生涯を通じて心身ともに健康な生活を送るための基礎を養うという観点から、極めて重要であると考えます。

教育行政における健康増進教育をお聞きします。

### 答弁

教育課長

学校における健康に関する教育及び指導について

では、成長段階において継続して実施していくことが大切であり、健康の土台を築くものとして、その自己健康管理の維持向上につなげていくことが非常に重要と考えます。

家庭、保健センター等関係機関と連携しながら、今後も健康増進への意識の高揚を図っていきたいと考えています。

### 【COPDとは】

従来、慢性気管支炎や肺気腫と呼ばれていた病気の総称で、肺の炎症による病気です。

毎年1万6,000人が亡くなっています。初期症状は、体を動かすときの息切れ等であり、単に年のせいと考え発見がおくることが非常に多い病気で、早期発見、早期対応することが極めて重要とされています。

検診は、胸部CT（低線量）と呼吸機能検査（慢性閉塞性肺疾患検診）です。





# ここが聞きたい!



## 庁舎移転後の財産管理について

藤薮 利広 議員

### 質問

旧庁舎は解体されると聞いていますが、旧教育庁舎についても解体するのか、お聞きします。

### 答弁 企画政策課長

旧庁舎、旧教育庁舎、西別館とも解体します。

### 再質問

解体後の土地の利活用については、何か考えていますか。

また、具体的にアクションを起こしていますか。

### 答弁 企画政策課長

現在、財源確保が重要で、詳細について検討しています。

### 再質問

公民館、図書館の機能は今後どうするのか。また、教育委員会は移

転するのか、社会福祉協議会は、今後どのようになるのか、お聞きします。

### 答弁 企画政策課長

教育委員会については、現公民館での執務を引き続き行います。

通常の業務はもちろん、利便性の低下した住民に対して窓口的な業務を行っています。

しかしながら、公民館は津波の浸水エリアですので、将来的には高台への移転も検討していく必要があると考えています。

社会福祉協議会につきましては、民間事業者ですので、事業者のほうで高台移転も含め協議しているかと推測しています。

### 若者定住における土地政策について

### 質問

印南町では農業が盛んであるがゆえに、農地の適用除外などに対する規制も広く厳しいように感じます。

農業を盛んにするとう考えには賛同しますが、一方で耕作放棄地が増え規制のため宅地などに除外・転用できない地域もあり、定住のための土地の提供、防災のための高台移転がしにくい状況です。

いろんな兼ね合いもあるとは思いますが、もう少し規制を緩やかにすることができれば、住む場所の提供や耕作放棄地の解消にもつながると思います。

今後、そのようなことは考えていかないのかお聞きします。

### 答弁 産業課長

防災のための高台移転の目的に対し、特に緩やかな判断をする等の配慮は出来ないこととなっております。

しかし、宅地と農地が隣接している区域で、集落の後継者となる若者世帯の住宅を目的とされるものについては、比較的实现の可能性は高いと考えられます。





# 一般質問

## 耐震診断、改修の現状を問う

榎本 一平 議員

質問

2000年6月、これまで昭和56年の建築耐震基準が見直されました。

当町では耐震診断の対象は、現在どの様に対応していますか。

答弁 総務課長

「住宅耐震促進事業」を、県に準じて対応しています。

耐震診断基準は木造の場合、〈昭和56年5月以前に建設した住宅〉から〈平成12年5月以前に建設した住宅〉に拡大して、自己負担なしで診断を行います。  
平成16年度から28年度までに診断を受けたのは99件で、そのうち改修は9件です。

核兵器廃絶に向けて町も積極的姿勢を

質問

核兵器廃絶に向け、2016年12月、国連は核兵器禁止条約締結の交渉開始決議を113ヶ国の圧倒的多数で採択しました。歴史的な情勢です。核兵器に対する考え方と条約交渉の動きに対し町長の見解を求めます。

答弁 町長

全世界から核兵器が全面廃絶になる様、切望しています。

再質問

印南町は1985年に4項目を掲げた「非核自治体宣言」を行いました。その看板が旧庁舎玄

関前にあり新庁舎に移すよう求めます。

答弁 総務課長

新庁舎に移して良いか、するのであればどこが良いか、検討していきたい。

コミバスの現状と対応について

質問

現在デマンド方式のコミバスが稲原ルート、切目川ルートの2路線で運行されています。

平成29年度からは稲原ルートの運行の規模を縮小し、75歳以上の方を対象に「お出かけサポート券配布制度」が始まりました。

運行開始から利用状況はどうなっていますか。

答弁 企画政策課長

平成24年の実績が過去最高でそれ以降は減少傾向です。

再質問

予約時間や駐車場所が減少の原因ではありませんか。

答弁 企画政策課長

自宅までお送りするということでの運行形態はとっていません。

あくまで「公共交通の空白地対応」という立場で実施しています。







## 印南町の地方創生

藤本 良昭 議員

節目の年に今後、印南町をどの様に発展させていかれるか、4項目にわたりお聞きします。

節目の年に今後、印南町をどの様に発展させていかれるか、4項目にわたりお聞きします。

### 質問

60周年記念行事の内容はどの様になっていきますか。

### 答弁

企画政策課長  
6月5日に町制60周年記念イベント実行委員会が発足しました。主要な行事としては

来たる9月16日(土)に式典をはじめとして、花火大会や餅まき等、各種イベントを実施予定しています。

### 再質問

次の様なイベントを考

町内外へ情報を発信したいと考えています。

えられては。

- ① 出生届出者へ記念品贈呈
- ② 記念植樹
- ③ 60周年誌

等の所見をお聞きします。

### 答弁

企画政策課長  
提案あったことを実行委員会にて検討します。

### 質問

人口減少歯止め対策をいかに進めていくのですか。

### 答弁

企画政策課長  
平成26年11月28日に公布された「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、28年3月に「長期ビジョン」「総合戦略」を策定し、各種施策の展開を行っています。

### 質問

「企業版ふるさと納税」についてお聞きします。

### 答弁

企画政策課長  
当町としても企業誘致の観点から、印南町を広くPRするよう努力し、企業版ふるさと納税の導入を検討します。

### 質問

インバウンド事業の取組状況についてお聞きします。

### 答弁

産業課長  
和歌山県では、観光交流課が主となり外国人観光客誘致を促進しています。

当町としても、教育旅行誘致協議会が中心になり、受け入れの環境整備など体制強化を図っております。

## いじめ問題について

### 質問

最近の傾向と町内各学校の実態について

### 答弁

教育長  
和歌山県では平成26年3月に、いじめ防止基本方針が制定されました。

当町においても同基本方針を作成し、それを基に教育委員会・各学校が情報共有に取り組んできました。広報紙においても「い

じめ問題への対応」として全町民に周知を行いました。

各校長・教頭から年3回アンケートや聞き取り調査を実施し、「いじめを許さない」姿勢で今後も取り組んでまいります。



# 印南町ふるさと歴史文化研究会 (印南町文化協会)

印南町は、「鯉節発祥の地」、「熊野四王子と切目懐紙」、「印南愛伝説」、「里神伝説」等々、魅力的な歴史文化に恵まれています。

「年配者は脳トレに」「若い人は自己を磨くために」と、今全国で、歴史文化に親しむ人が増えています。私も時代の波に乗り遅れないようにとの思いから、これまでの文化協会の歴史文化部門をより充実させ、「印南町ふるさと歴史文化研究会」とし、生涯学習を楽しむ「印南町文化サークルの会」と両輪で、微力ながら郷土の文化向上に取り組みでいきたいと思います。

特に、これまでの研究を継続し、地域の伝説・伝統文化等の発掘、調査に取り組みながら、次世代に誇れる郷土の歴史文化を、幅広く知ってもらうことを目指しています。

その一環として、6月より「寺子屋・土曜ふるさと塾」「土曜朝の学習」等をスタートしました。

年会費1,000円を収めた人は、学習会の出席時に200円で気楽にふるさとのことを学習できます。

ご参加をお待ちしています。

申込書、年間カリキュラムは、印南町公民館(42-1702)へ



第1回打ち合わせにて

池上啓子・水野あき

**伝承踊協力員**  
(衣装管理等)

上山千重子  
片山美代子  
岡崎富美子  
倉文江

(順不同)

「印南町の歴史文化を大事に！」を合言葉に、私達一同も共に学んで参ります。

地域の知られざる情報があれば、是非公民館までお知らせください。

尚、「文化サークルの会」も、代表・坂下緋美、役員(鳴神ゆり子・笹野操・小川武・笹野久代・山本吉彦・宮本浩子・亀岩容子)を中心に、秋の文化祭に向けて活動しています。

**あとがき**

記録的な七月九州北部豪雨に遭われた皆様には心よりお見舞い申し上げますと共に、亡くなられた方々にはご冥福をお祈り申し上げます。

さて、わが町、新庁舎移転もようやく落ち着き、本格稼働していますが、私ども議会は8月末をもって4年の任期満了となり、今回の「議会だより」が最終のお届けとなります。

新体制でもどうか引き続きよろしくお願い申し上げます。

「ご意見をお待ちしております。」

メールアドレス

gikai@town.wakayama-

inami.lg.jp

TEL 42-1739

FAX 42-8055

議会広報特別委員会

委員長 榎本 一平  
副委員長 中島 洋  
委員 藤本 良昭  
委員 藤本 利昭  
委員 井上 孝夫  
委員 前田 憲夫